

第2回 教職の魅力創造プラットフォーム会議事録

日時: 令和3年12月19日(日)9:30~10:40
場所: 山形大学地域教育文化学部会議室

出席者

委員	出口 毅	山形大学副学長 (教育担当理事)
	大森 桂	山形大学地域教育文化学部 学部長・大学院教育実践研究科 研究科長
	石垣 和恵	山形大学地域教育文化学部 准教授
	江間 史明	山形大学大学院教育実践研究科 教授
	森田 智幸	山形大学大学院教育実践研究科 准教授
	井上 文	山形県教育庁高校教育課 指導主事
	渋谷 宗馬	山形県立山形西高等学校 教諭
	有路 将則	山形大学地域教育文化学部児童教育コース4年
	平田 順之	山形大学地域教育文化学部児童教育コース4年
	田中 瑞葵	山形県立山形東高等学校2年 (オンライン参加)
	佐藤 蓮	山形県立山形西高等学校2年
	青柳 敦子	山形県立長井高等学校 校長
	樋渡 美千代	酒田市立一條小学校 校長
	山科 勝	山形大学大学院教育実践研究科 准教授

欠席者

委員	佐藤 博晴	山形大学地域教育文化学部 副学部長
	井上 文	山形県教育庁高校教育課 指導主事
(代理)	鈴木 貴志	

議事に先立ち、出口副学長より挨拶として、教職の魅力創造をどう進めるかについて2点の話題提供があった。第一に現状について。来年度の山形県の教員採用で山形大学出身者は72名(既卒も含む)で、採用者に占める割合は20%。このうち小学校教員は38名である。一方、東北文教大は28名合格で躍進している。大学として競う部分と連携して県の教員養成を高めていく部分を見ていく必要があること。第二に、山形大学には地域連携のプラットフォームが20近くあり、本会議はその一つである。本会議は実績を着実に積み上げてきているが、高校生の柔軟な意見を聞くだけでなく、大学としてできることを進めていく必要があること、である。

その後、今回初めて出席される委員の自己紹介が行われた。また、協議事項は、「山形大学地域教育文化学部及び大学院教育実践研究科教職の魅力創造プラットフォーム会議規程」第5条により、大森桂委員を議長として進めることが提案され、了承された。

議 題

I 協議事項

1 第1回議事録の確認について

山科委員から、資料1に基づき説明があり、承認された。

また、6~9号委員より教職の魅力創造プラットフォーム会議や教職の魅力創造プロジェクトに関して寄稿いただきたい旨提案があり、了承された。

2 教職の魅力創造プロジェクトの進捗状況について

森田委員から、資料2に基づき学びのフォーラムについて、鈴木指導主事から教員セミナーについて、江間委員から資料3に基づき聞き書きプロジェクトについて説明があり、確認がなされた。

なお、以下のとおり意見交換があった。

- ・教員体験セミナーに参加して、教員という職業に魅力を持つと同時に、山形大学に進

- 学したいという生徒も増えたと聞いている。
- ・これまで中学校の教員になりたいと思っていたが、教員体験セミナーに参加してみて小学校の教員への思いが強くなった。同じ思いを持った友人もいる。
 - ・学びのフォーラムは、オンラインと対面のハイブリットの開催がありがたかったので、次回以降も同様に開催してほしい。また、教員と話す機会があることで、自分が教員になってからのことも思い浮かべることができた。
 - ・長井高校は教員を目指す生徒が多く、教員体験セミナーをぜひとも他地区への拡大も検討いただきたい。
 - ・学びのフォーラムについて、地理的に参加が難しいところもあるので、できれば庄内地区にサテライト会場の設置も検討いただきたい。
 - ・小学校だけでなく、中学・高校の先生と関われるような機会も増やせるといいのではないか。
 - ・聞き書きプロジェクトを集团的に一律に実施するのは難しく、聞き手側と受け手側の思いが対面で噛み合っただけで実施できるものと考えている。また、中学・高校の教員と高校生の関わりについては、学びのフォーラムにも中・高の先生が参加しているので、フォーラムの余白（休憩）の時間を利用して交流できるのではと考えている。

3 ホームページの改善について

森田委員から、資料4に基づきホームページの概要及び今後の改善内容について説明があり、確認がなされた。

なお、以下のとおり意見交換があった。

- ・教職の魅力創造プロジェクトのホームページまでなかなかたどり着けなかったもので、もう少し分かりやすいように工夫（QRコード等）してはどうか。
- ・教職の魅力創造プロジェクトのチラシにホームページのQRコードを貼って、中学・高校に配布して宣伝してもらう方法もあるのではないか。
- ・高校生であれば、SNSやインスタグラムを活用していることが多いので、そういったツールを活用して情報発信をしてはどうか。
- ・ホームページの見出しや表現を分かりやすくしたり、画像を用いたりして視覚的にイメージできる内容にしてはどうか。

4 その他 なし

II その他 なし

